



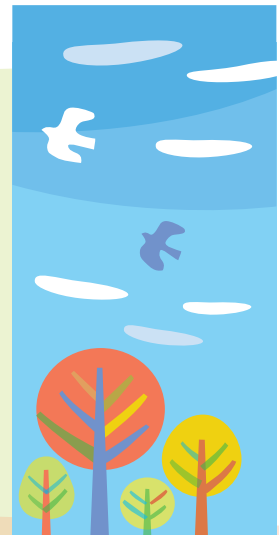
在宅介護を考える集い **人とまちづくりフォーラム 2017**

「在宅医療」知っていますか？ 家で最期まで療養したい人に。

第1部 13:30~14:30 フォーラム基調講演

「**平穏死**」 特別養護老人ホーム「芦花ホーム」医師
石飛幸三氏

看取り・・・あるがままと尊重して受け止める
家族は介護と看取りの過程で、つねに迷い続けます。
本人と家族にとって後悔しない看取りとは。







第2部 15:00~16:30

「安心して在宅生活を送るための条件とは」

参加パネリスト

・・・在宅介護に関わる人

-  利用者家族
-  訪問看護師
-  介護福祉士
-  ケアマネジャー

元 ACT 理事長
フォーラム進行・・・石毛鏡子



調査の報告

自宅で暮らすために
家族への支援として
何が一番必要ですか？

ACT・人とまちづくり
ケアマネジャーより

日時 **2017年10月28日(土) 13:30~16:30** (13時から受付)

場所 生活クラブ生活協同組合・東京 **生活クラブ館 スペース 1・2**
世田谷区宮坂 3-13-13 小田急線 経堂駅下車 徒歩3分

主催 特定非営利活動法人 ACT・人とまちづくり 理事長 香丸真理子
<http://act-hitotomachidukuri.org/>

*お問い合わせ連絡先 ACT・人とまちづくり事務局 TEL 042-479-4810

後援 特定非営利活動法人 アビリティクラブたすけあい
助成 公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

事前申し込み 参加費無料



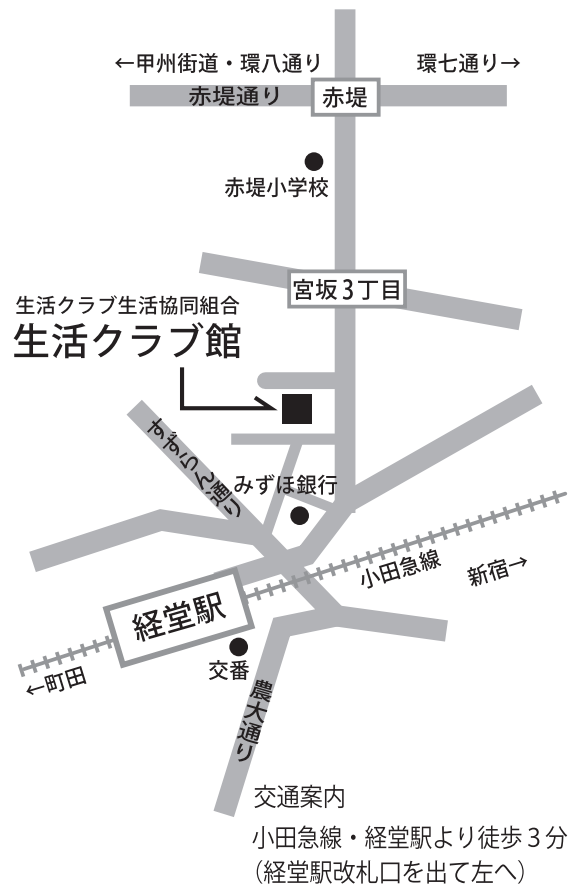
石飛幸三 特別養護老人ホーム・芦花ホーム常勤医。
 1935年広島県生まれ。慶應義塾大学医学部卒業。1970年ドイツのフェルディナント・ザウアーブルッフ記念病院で血管外科医として勤務。帰国後、1972年東京都済生会中央病院勤務、1993年東京都済生会中央病院副院長を経て、2005年より現職。診療の傍ら、講演や執筆などを通して、老衰末期の看取りのあり方についての啓発に尽力している。

人とまちづくりフォーラム 開催主旨

2015年介護保険改正があり、病院・施設から在宅療養への流れと大きく変わりました。特に中重度(3～5)要介護者及び認知症高齢者が安心して在宅及び地域で医療・介護の連携で在宅生活ができることを目指しています。

ACT・人とまちづくりでは一昨年「安心して在宅で生活を送るための条件とは…」という調査をご利用者250名のご協力をいただき各事業所のケアマネジャーが聞き取り調査を実施しました。その調査結果報告をふくめ、当事者と介護する家族への支援策として何が求められているのか?在宅介護を考える集い「人とまちづくりフォーラム2017」を開催いたします。フォーラムに先立ち、「平穏死」を提唱する石飛幸三医師の基調講演を企画いたしました。過剰な医療をせず自然を大切に人生の最期を迎えることの意味と本人と家族にとって後悔しない介護をみんなで共に考えてみましょう。皆様のご参加をお待ちしています。

特定非営利活動法人 ACT・人とまちづくり 理事長
 香丸眞理子



〒156-0051 東京都世田谷区宮坂3丁目13-13

人とまちづくりフォーラム / 参加申し込みのご案内

FAXでのお申し込み 事務局 FAX 042-479-4860 (切り取らずこのまま FAX してください)

氏名	参加人数 □名	いずれかに○→ 一般 / ACT 会員 / ワークスメンバー ワークス名 ()
住所	電話番号	

電話でのお申し込み 事務局 TEL 042-479-4810 (月～金 9:00～17:00)

参加申し込み 2017年9月29日まで